# 事務事業 事後評価シート（令和3年度実施事業）

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 事務事業名 | 国土調査事業 | | | | | 事業通番 | 4190 |
| | | | | | | 開始年度 | 昭和40年度 |
| 総合計画体系 | 政策№ | 1 | 政策名 | 自然に配慮した環境づくり | | 終了年度 | -- |
| | 施策№ | 1-2 | 施策名 | 生活基盤の整備 | | 担当課名 | 建設水道課 |
| 予算科目 | 会計 | 一般会計 | | 款 | 農林水産業費 | 担当係名 | 管理係 |
| | 項 | 農業費 | | 目 | 農業振興施設費 | 重点プロジェクト | |

**１．事業の概要**

| | |
|---|---|
| 法令根拠、条例等 | 国土調査法 |
| 事務事業の概要 | １筆ごとの土地について、所有者･地番・地目を調査するとともに、境界の確認・測量を行い、正確な地図及び台帳を作成する。 |
| 対象（誰、何を） | 町内の土地 |
| 意図<br>(対象がどのような状態になることを目指すか) | 地籍・境界が明確になり、正確な地図及び台帳が作成される。 |
| 成果の考え方 | 国土調査の実施計画を見直しつつ、今年度も新規地区の調査には取り組まず、未認証となっている遅延地区の解消が必要である。 |

| 【成果指標】 | | 単位 |
|---|---|---|
| A | 当該事業実施面積 | ㎢ |
| B | 調査実施済面積 | ㎢ |

**２．事業の実績**

**（１）事業費等の推移**

| 区分 | 3年度(決算) | 4年度 | 5年度 | 6年度 | 7年度 |
|---|---|---|---|---|---|
| 事業費(千円) | 3,260 | | | | |
| 国庫支出金 | | | | | |
| 県支出金 | | | | | |
| 地方債 | | | | | |
| その他 | | | | | |
| 一般財源 | 3,260 | | | | |

**（２）指標の推移**　　上段：目標値　下段：実績値

| 成果指標 | 3年度 | 4年度 | 5年度 | 6年度 | 7年度 |
|---|---|---|---|---|---|
| A | 0 | | | | |
| | 0 | | | | |
| B | 55.48 | | | | |
| | 55.48 | | | | |

**（３）活動実績及び成果**

| | |
|---|---|
| 活動実績 | 未認証地区の解消を進めるため、新規地区の調査は実施しなかった。未認証地区「蕎麦ノ目地区」「福永第1地区」の遅延解消に向け取り組んだ。合わせて、既認証地区内で判明した国土調査成果と現況のズレの訂正作業も実施した。 |
| 成果 | 「蕎麦ノ目地区」の認証を受けた。また「福永第1地区」の認証請求に係る資料の事前協議を会津農林事務所と実施した。合わせて、既認証地区2地区において国土調査成果と現況のズレを解消した。 |

**３．最終評価**

| | | |
|---|---|---|
| 成果の方向性 | 現状維持 | **（理由）**<br>町内不動産の適正な売買の推進や、迅速な災害復旧のため計画的に事業を進めることが必要である。 |
| コストの方向性 | 現状維持 | **（理由）**<br>専門的な測量技術や作図技術が必要な工程では、一部業務を委託しているため補助金を活用しつつ進めたい。 |
| 今後の方向性 | 現状維持 | **（理由）**<br>まだ多くの未実施地区があるため、計画的に事業を実施する。 |

# 事務事業 事後評価シート（令和3年度実施事業）

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 事務事業名 | 都市計画事業 | | | | | 事業通番 | 4605 |
| | | | | | | 開始年度 | 令和3年度 |
| 総合計画体系 | 政策№ | 1 | 政策名 | 自然に配慮した環境づくり | | 終了年度 | -- |
| | 施策№ | 1-2 | 施策名 | 生活基盤の整備 | | 担当課名 | 建設水道課 |
| 予算科目 | 会計 | 一般会計 | | 款 | 土木費 | 担当係名 | 管理係 |
| | 項 | 都市計画費 | | 目 | 都市計画総務費 | 重点プロジェクト | |

**１．事業の概要**

| | |
|---|---|
| 法令根拠、条例等 | 都市計画法、建築基準法 |
| 事務事業の概要 | 都市計画関係法令に基づき都市計画区域内の規制管理を行うとともに、区画整理事業等により設置した調整池等を、周辺の区域内住民に悪影響を及ぼさないよう適切に管理する。 |
| 対象（誰、何を） | 都市計画区域内の建築物等及び都市施設 |
| 意図<br>(対象がどのような状態になることを目指すか) | 適法に建築及び管理される。 |
| 成果の考え方 | 建築物関係については建築確認申請の際に必要となる現地調査票の処理件数を、都市施設については維持管理が適正に管理したことを成果とするため苦情件数とする。 |

| 【成果指標】 | | 単位 |
|---|---|---|
| A | 建築物関係の現地調査票処理件数 | 件 |
| B | 都市施設への苦情件数 | 件 |

**２．事業の実績**

**（１）事業費等の推移**

| 区分 | 3年度(決算) | 4年度 | 5年度 | 6年度 | 7年度 |
|---|---|---|---|---|---|
| 事業費(千円) | 1,758 | | | | |
| 国庫支出金 | | | | | |
| 県支出金 | | | | | |
| 地方債 | | | | | |
| その他 | | | | | |
| 一般財源 | 1,758 | | | | |

**（２）指標の推移**　　**上段：目標値　下段：実績値**

| 成果指標 | 3年度 | 4年度 | 5年度 | 6年度 | 7年度 |
|---|---|---|---|---|---|
| A | 40 | | | | |
| | 37 | | | | |
| B | 0 | | | | |
| | 0 | | | | |

**（３）活動実績及び成果**

| | |
|---|---|
| 活動実績 | ・都市計画法、建築基準法に則り適正に処理した。<br>・道上調整池については、適時草刈りを実施した。また２月に調整池の下流に位置する４件の地下水について11項目の水質検査を実施した。検査結果は飲料水として適合していた。<br>・思堀沈殿槽については、維持管理業務を委託し適正な管理に努めた。また沈殿槽の汚泥抜き取りを12月に実施した。 |
| 成果 | ・都市計画関係法令に基づき適正に処理することで、都市計画区域内において用途地域にあった建物を建築することにより住環境の整備が図られた。<br>・周辺地区内住民の安全で安心な生活環境を維持すると共に放流水の適正な管理を行った。 |

**３．最終評価**

| | | |
|---|---|---|
| 成果の方向性 | 現状維持 | （理由）<br>都市施設の管理については、施設の適正管理に努め、周辺地区内住民の安全で安心な生活を維持する。 |
| コストの方向性 | 現状維持 | （理由）<br>現在最低限の予算で実施しているので今後も維持する。 |
| 今後の方向性 | 現状維持 | （理由）<br>今後も都市計画関係法令に基づき都市計画区域内の規制管理を行う。 |

# 事務事業 事後評価シート（令和3年度実施事業）

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 事務事業名 | 河川管理事業 | | | | | 事業通番 | 4779 |
| | | | | | | 開始年度 | 令和3年度 |
| 総合計画体系 | 政策№ | 1 | 政策名 | 自然に配慮した環境づくり | | 終了年度 | -- |
| | 施策№ | 1-2 | 施策名 | 生活基盤の整備 | | 担当課名 | 建設水道課 |
| 予算科目 | 会計 | 一般会計 | | 款 | 土木費 | 担当係名 | 建設係 |
| | 項 | 河川費 | | 目 | 河川整備費 | 重点プロジェクト | |

**１．事業の概要**

| | |
|---|---|
| 法令根拠、条例等 | 河川法、会津美里町河川管理規則 |
| 事務事業の概要 | 河川機能を維持するため、適正な維持管理を行うことで、円滑な流水を確保し、災害の防止を図る。 |
| 対象（誰、何を） | 準用河川及び普通河川 |
| 意図<br>(対象がどのような状態になることを目指すか) | 災害の防止 |
| 成果の考え方 | 準用河川及び普通河川を適切に維持管理することにより、災害の発生を未然に防ぐ。 |

| 【成果指標】 | | 単位 |
|---|---|---|
| A | 河川浄化作業実施面積 | ㎡ |
| B | 浚渫実施件数 | 件 |

**２．事業の実績**

**（１）事業費等の推移**

| 区分 | 3年度(決算) | 4年度 | 5年度 | 6年度 | 7年度 |
|---|---|---|---|---|---|
| 事業費(千円) | 10,961 | | | | |
| 国庫支出金 | | | | | |
| 県支出金 | 4,660 | | | | |
| 地方債 | 5,900 | | | | |
| その他 | | | | | |
| 一般財源 | 401 | | | | |

**（２）指標の推移**　　上段：目標値　下段：実績値

| 成果指標 | 3年度 | 4年度 | 5年度 | 6年度 | 7年度 |
|---|---|---|---|---|---|
| A | 130,000 | | | | |
| | 124,494 | | | | |
| B | 2 | | | | |
| | 2 | | | | |

**（３）活動実績及び成果**

| | |
|---|---|
| 活動実績 | 河川沿の除草について、自治区や河川愛護団体等１７団体へ委託し、124,494㎡実施した。<br>また、町管理河川の浚渫工事を２件実施した。 |
| 成果 | 除草や浚渫工事により、河川内の安全が確保され、河川災害防止につながった。 |

**３．最終評価**

| | | |
|---|---|---|
| 成果の方向性 | 現状維持 | （理由）<br>近年の集中豪雨等により河川が増水した際、未然に災害を防止するため、河川内の除草及び河道掘削を継続的に実施することで河川機能を維持するため。 |
| コストの方向性 | 現状維持 | （理由）<br>除草作業人力での作業となるためコスト縮減の余地がなく、河道掘削においても、機械での作業で行っていることからコスト縮減の余地がない。 |
| 今後の方向性 | 現状維持 | （理由）<br>未然に災害を防止するため、継続して事業を行っていく。 |

# 事務事業 事後評価シート（令和3年度実施事業）

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 事務事業名 | 情報通信施設管理事業 | | | | | 事業通番 | 5115 |
| | | | | | | 開始年度 | 令和3年度 |
| 総合計画体系 | 政策№ | 1 | 政策名 | 自然に配慮した環境づくり | | 終了年度 | -- |
| | 施策№ | 1-2 | 施策名 | 生活基盤の整備 | | 担当課名 | 総務課 |
| 予算科目 | 会計 | 一般会計 | 款 | 総務費 | | 担当係名 | 防災情報係 |
| | 項 | 総務管理費 | 目 | 電算管理費 | | 重点プロジェクト | |

## 1．事業の概要

| | |
|---|---|
| 法令根拠、条例等 | ― |
| 事務事業の概要 | 情報格差是正事業（Ｈ＆Ｓネットワーク整備事業）で町内全域に敷設した光ファイバー網の維持管理やテレビ難視聴地区で組織する共同受信組合への助成を行う。<br>【主な取組】令和3年度は光ファイバー網の維持管理やテレビ共同受信組合への助成を行う。 |
| 対象（誰、何を） | 町が敷設した光ケーブル網など情報通信施設 |
| 意図<br>(対象がどのような状態になることを目指すか) | 町が所有する情報通信施設が問題なくサービスを提供する。 |
| 成果の考え方 | 問題なくサービスを提供できているか。 |

| 【成果指標】 | | 単位 |
|---|---|---|
| A | 光ケーブル網障害件数 | 件 |
| B | - | - |

## 2．事業の実績

### （1）事業費等の推移

| 区分 | 3年度(決算) | 4年度 | 5年度 | 6年度 | 7年度 |
|---|---|---|---|---|---|
| 事業費(千円) | 23,394 | | | | |
| 国庫支出金 | | | | | |
| 県支出金 | | | | | |
| 地方債 | | | | | |
| その他 | 13,423 | | | | |
| 一般財源 | 9,971 | | | | |

### （2）指標の推移

上段：目標値　下段：実績値

| 成果指標 | 3年度 | 4年度 | 5年度 | 6年度 | 7年度 |
|---|---|---|---|---|---|
| A | 0 | | | | |
| | 0 | | | | |
| B | - | | | | |
| | - | | | | |

### （3）活動実績及び成果

| | |
|---|---|
| 活動実績 | 光回線不足解消のため、スプリッター増設を1件実施した。（対象地区：本郷瀬戸町）<br>光ケーブル網の定期点検など維持管理を行った。<br>テレビ共同受信組合への助成を行った。（対象地区：西尾、穂馬） |
| 成果 | 光ケーブル網の維持管理を実施することで障害は発生せず、問題なくサービス提供ができた。 |

## 3．最終評価

| | | |
|---|---|---|
| 成果の方向性 | 現状維持 | （理由）<br>光ファイバー網の整備により安定した生活環境が保たれている。 |
| コストの方向性 | 現状維持 | （理由）<br>直営によるコスト縮減を図るためにも民間への移管を進める必要がある。 |
| 今後の方向性 | 現状維持 | （理由）<br>コストを縮減しながら継続したサービスを提供していく。 |

# 事務事業 事後評価シート（令和3年度実施事業）

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 事務事業名 | 公園管理事業 | | | | | 事業通番 | 5202 |
| | | | | | | 開始年度 | 令和3年度 |
| 総合計画体系 | 政策№ | 1 | 政策名 | 自然に配慮した環境づくり | | 終了年度 | -- |
| | 施策№ | 1-2 | 施策名 | 生活基盤の整備 | | 担当課名 | 建設水道課 |
| 予算科目 | 会計 | 一般会計 | | 款 | 土木費 | 担当係名 | 管理係 |
| | 項 | 都市計画費 | | 目 | 公園費 | 重点プロジェクト | |

**１．事業の概要**

| | |
|---|---|
| 法令根拠、条例等 | 都市公園法　会津美里町都市公園条例　会津美里町街なみ公園条例 |
| 事務事業の概要 | 都市公園や街なみ公園等の利用者が安全快適に使用できる環境の整備と維持を行う。 |
| 対象（誰、何を） | 都市公園、町なみ公園等 |
| 意図<br>(対象がどのような状態になることを目指すか) | 安全で快適に利用できること。 |
| 成果の考え方 | 施設利用者に事故が無いこと。 |

| 【成果指標】 | | 単位 |
|---|---|---|
| A | 施設利用者の事故 | 件 |
| B | - | - |

**２．事業の実績**

**（１）事業費等の推移**

| 区分 | 3年度(決算) | 4年度 | 5年度 | 6年度 | 7年度 |
|---|---|---|---|---|---|
| 事業費(千円) | 46,679 | | | | |
| 国庫支出金 | | | | | |
| 県支出金 | | | | | |
| 地方債 | | | | | |
| その他 | | | | | |
| 一般財源 | 46,679 | | | | |

**（２）指標の推移**　　**上段：目標値　下段：実績値**

| 成果指標 | 3年度 | 4年度 | 5年度 | 6年度 | 7年度 |
|---|---|---|---|---|---|
| A | 0 | | | | |
| | 0 | | | | |
| B | - | | | | |
| | - | | | | |

**（３）活動実績及び成果**

| | |
|---|---|
| 活動実績 | ・公園内施設の遊具等の点検及び不良箇所の修繕を行った。<br>・公園内の支障木の伐採を行った。<br>・あやめ苑再生のために、栽培管理等を行った。 |
| 成果 | ・新型コロナウイルスの影響により閉鎖した期間があったが、利用者に公園施設を快適に安心して利用していただけた。 |

**３．最終評価**

| | | |
|---|---|---|
| 成果の方向性 | 現状維持 | **（理由）**<br>都市公園や街なみ公園等の利用者が安全快適に使用できる環境の整備を維持する。 |
| コストの方向性 | 現状維持 | **（理由）**<br>NPO法人や振興公社に委託することで経費の節減を図っているが、今後は新たな委託先の検討を行い、更なるコストの削減を図る。 |
| 今後の方向性 | 現状維持 | **（理由）**<br>後継者不足により新たな委託先の検討が必要となっている。 |

# 事務事業 事後評価シート（令和3年度実施事業）

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 事務事業名 | 町営住宅管理事業 | | | | | 事業通番 | 5393 |
| | | | | | | 開始年度 | 昭和29年度 |
| 総合計画体系 | 政策№ | 1 | 政策名 | 自然に配慮した環境づくり | | 終了年度 | -- |
| | 施策№ | 1-2 | 施策名 | 生活基盤の整備 | | 担当課名 | 建設水道課 |
| 予算科目 | 会計 | 一般会計 | | 款 | 土木費 | 担当係名 | 管理係 |
| | 項 | 住宅費 | | 目 | 住宅管理費 | 重点プロジェクト | |

## 1．事業の概要

| | |
|---|---|
| 法令根拠、条例等 | 公営住宅法、会津美里町営住宅管理条例 |
| 事務事業の概要 | 住宅に困窮している低所得者に対して低廉な家賃で町営住宅を賃貸することにより、町民生活の安定と社会福祉の増進に寄与する。 |
| 対象（誰、何を） | ①町営住宅<br>②町営住宅使用料 |
| 意図<br>(対象がどのような状態になることを目指すか) | ①入居に適した良好な状態を維持する。<br>②住宅使用料の収納率を上げる。 |
| 成果の考え方 | ①町営住宅の維持管理を適切に行い、良好な状態を維持する。<br>②町営住宅使用料の徴収を適切に行い、収納率の向上を図る。 |

| 【成果指標】 | | 単位 |
|---|---|---|
| A | 町営住宅修繕実施件数 | 件 |
| B | 収納率 | % |

## 2．事業の実績

### （1）事業費等の推移

| 区分 | 3年度(決算) | 4年度 | 5年度 | 6年度 | 7年度 |
|---|---|---|---|---|---|
| 事業費(千円) | 51,300 | | | | |
| 国庫支出金 | 4,498 | | | | |
| 県支出金 | | | | | |
| 地方債 | | | | | |
| その他 | 14,510 | | | | |
| 一般財源 | 32,292 | | | | |

### （2）指標の推移

上段：目標値　下段：実績値

| 成果指標 | 3年度 | 4年度 | 5年度 | 6年度 | 7年度 |
|---|---|---|---|---|---|
| A | 100 | | | | |
| | 105 | | | | |
| B | 98 | | | | |
| | 97.97 | | | | |

### （3）活動実績及び成果

| | |
|---|---|
| 活動実績 | ・使用料の滞納者に対し、文書・電話・臨戸訪問による納付督励を行った。<br>・施設修繕・施設管理業務委託等により、施設の維持管理を実施した。<br>・除却対象住宅からの住替えを希望する者に対し、住替え移転助成金2件156,000円を交付した。 |
| 成果 | ・納付の督励により、納付相談、分割納付計画書・分割納付誓約書の提出につながった。<br>・修繕・施設管理業務委託により、住宅の生活環境が維持された。<br>・除却対象住宅からの住替えが推進された。 |

## 3．最終評価

| | | |
|---|---|---|
| 成果の方向性 | 現状維持 | （理由）<br>住宅に困窮している低所得者に対して低廉な家賃で町営住宅を賃貸することにより、町民生活の安定と社会福祉の増進を図っている。 |
| コストの方向性 | 現状維持 | （理由）<br>維持管理に必要な経費で適正な予算執行をしている。 |
| 今後の方向性 | 現状維持 | （理由）<br>解体予定の町営住宅に住んでいる方の住替えを促進するとともに、引き続き施設の維持管理、使用料収納事務に努める。 |

# 事務事業 事後評価シート（令和3年度実施事業）

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 事務事業名 | 水洗化改造工事費助成金 | | | | | 事業通番 | 5472 |
| | | | | | | 開始年度 | 令和3年度 |
| 総合計画体系 | 政策№ | 1 | 政策名 | 自然に配慮した環境づくり | | 終了年度 | 令和5年度 |
| | 施策№ | 1-2 | 施策名 | 生活基盤の整備 | | 担当課名 | 建設水道課 |
| 予算科目 | 会計 | 下水道事業会計 | | 款 | 公共下水道事業費用 | 担当係名 | 上下水道係 |
| | 項 | 営業費用 | | 目 | 総係費 | 重点プロジェクト | |

## 1．事業の概要

| | |
|---|---|
| 法令根拠、条例等 | 会津美里町水洗化改造工事費助成金交付要綱 |
| 事務事業の概要 | 公共下水道供用開始３年以内の区域内で、下水道接続の水洗化工事を行う一般家庭及び共同住宅を対象に、工事費の一部を予算の範囲内において助成する。<br>【おもな取組】令和３年度は、供用開始３年以内の処理区域内で排水設備及び既設便所等を水洗式に改造する工事を行う対象者に対し、その費用の一部を助成する。 |
| 対象（誰、何を） | 供用開始３年以内の処理区域内における下水道未接続の一般家庭及び共同住宅 |
| 意図<br>(対象がどのような状態になることを目指すか) | 排水設備及び既設便所等を水洗式に改造する工事を行い公共下水道へ接続する。 |
| 成果の考え方 | 公共下水道への接続率の向上を成果と捉え、Aの指標を設定する。また、助成金を利用した新規接続件数についても成果と捉え、Bの指標を設定する。 |

| 【成果指標】 | | 単位 |
|---|---|---|
| A | 下水道接続率(公共ます)　　接続人口/処理区域内人口 | % |
| B | 水洗化改造工事費助成金交付決定件数 | 件 |

## 2．事業の実績

### （1）事業費等の推移

| 区分 | 3年度(決算) | 4年度 | 5年度 | 6年度 | 7年度 |
|---|---|---|---|---|---|
| 事業費(千円) | 265 | | | | |
| 国庫支出金 | | | | | |
| 県支出金 | | | | | |
| 地方債 | | | | | |
| その他 | | | | | |
| 一般財源 | 265 | | | | |

### （2）指標の推移

上段：目標値　下段：実績値

| 成果指標 | 3年度 | 4年度 | 5年度 | 6年度 | 7年度 |
|---|---|---|---|---|---|
| A | 48.5 | | | | |
| | 51.7 | | | | |
| B | 18 | | | | |
| | 5 | | | | |

### （3）活動実績及び成果

| | |
|---|---|
| 活動実績 | 供用開始後３年以内の５件に対し、総額265,000円の助成金を交付。 |
| 成果 | 助成金を活用し事業を実施することで水洗化が図られた。 |

## 3．最終評価

| | | |
|---|---|---|
| 成果の方向性 | 現状維持 | （理由）<br>助成措置による水洗化改造工事を実施することにより、下水道接続率を向上させ生活環境の保全を維持する。 |
| コストの方向性 | 現状維持 | （理由）<br>公共下水道処理区域内の接続を促進し、快適な生活環境の保全を図るため現状維持とする。 |
| 今後の方向性 | 現状維持 | （理由）<br>現在の要綱は、令和2年度に整備が完了し以後3年間、助成の対象を令和5年度までとしているが、整備完了が遅れることから、公平性を保つため、助成の対象年度を延長する必要がある。 |

# 事務事業 事後評価シート（令和3年度実施事業）

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 事務事業名 | 公共下水道施設整備事業 | | | | | 事業通番 | 5679 |
| | | | | | | 開始年度 | 令和3年度 |
| 総合計画体系 | 政策№ | 1 | 政策名 | 自然に配慮した環境づくり | | 終了年度 | 令和9年度 |
| | 施策№ | 1-2 | 施策名 | 生活基盤の整備 | | 担当課名 | 建設水道課 |
| 予算科目 | 会計 | 下水道事業会計 | | 款 | 公共下水道事業資本的支出 | 担当係名 | 上下水道係 |
| | 項 | 建設改良費 | | 目 | 建設改良費 | 重点プロジェクト | |

**１．事業の概要**

| | |
|---|---|
| 法令根拠、条例等 | 都市計画法、下水道法、会津美里町下水道条例 |
| 事務事業の概要 | 公共用水域の水質確保と生活環境の改善を目的に、生活排水等を下水道処理施設により処理する為、管路施設及び処理場の整備を実施する。<br>高田処理区（Ｈ９年～Ｈ39年）計画整備面積　273.0ｈａ<br>本郷処理区（Ｈ９年～Ｈ39年）計画整備面積　133.5ｈａ<br>【おもな取組】令和３年度は、高田処理区内5.3haの管渠整備を実施する。 |
| 対象（誰、何を） | 公共下水道計画整備区域 |
| 意図<br>(対象がどのような状態になることを目指すか) | 管渠等整備を完了する。 |
| 成果の考え方 | 下水道の整備促進により公共用水域の水質の保持、生活環境の保全に結びつけることとするため、管渠整備の進捗状況を成果と捉え、高田処理区をAの指標とし、本郷処理区をBの指標とする。 |

| 【成果指標】 | | 単位 |
|---|---|---|
| A | 整備進捗率（高田処理区） | % |
| B | 整備進捗率（本郷処理区） | % |

**２．事業の実績**

**（１）事業費等の推移**

| 区分 | 3年度(決算) | 4年度 | 5年度 | 6年度 | 7年度 |
|---|---|---|---|---|---|
| 事業費(千円) | 107,777 | | | | |
| 国庫支出金 | 49,126 | | | | |
| 県支出金 | 1,214 | | | | |
| 地方債 | 50,700 | | | | |
| その他 | 5,256 | | | | |
| 一般財源 | 1,481 | | | | |

**（２）指標の推移**　　**上段：目標値　下段：実績値**

| 成果指標 | 3年度 | 4年度 | 5年度 | 6年度 | 7年度 |
|---|---|---|---|---|---|
| A | 85.7 | | | | |
| | 85.6 | | | | |
| B | 95.3 | | | | |
| | 95.3 | | | | |

**（３）活動実績及び成果**

| | |
|---|---|
| 活動実績 | 公共用水域の水質確保と生活環境の改善を目的に、生活排水等を下水道処理施設により処理するため、高田処理区の未普及区域の管渠施設Ｌ＝615.2ｍの整備を実施した。 |
| 成果 | 下水道整備の促進により、公共用水域の保持、生活環境の保全が図られた。 |

**３．最終評価**

| | | |
|---|---|---|
| 成果の方向性 | 現状維持 | （理由）<br>処理区内の管渠埋設工事等を実施することにより、汚水処理普及率が向上し生活環境の保全を維持する。 |
| コストの方向性 | 現状維持 | （理由）<br>公共用水域の保持、生活環境の保全のために全体計画に基づき管渠埋設工事等を実施していくこととし、現状維持とする。 |
| 今後の方向性 | 現状維持 | （理由）<br>全体計画に基づき管渠埋設工事等を実施し、早期完成に努め、公共用水域の水質確保と生活環境の改善を目指していく。 |

# 事務事業 事後評価シート（令和3年度実施事業）

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 事務事業名 | 空き家利活用事業 | | | | | 事業通番 | 14398 |
| | | | | | | 開始年度 | 令和3年度 |
| 総合計画体系 | 政策№ | 1 | 政策名 | 自然に配慮した環境づくり | | 終了年度 | -- |
| | 施策№ | 1-2 | 施策名 | 生活基盤の整備 | | 担当課名 | 政策財政課 |
| 予算科目 | 会計 | 一般会計 | | 款 | 総務費 | 担当係名 | 人口減少対策係 |
| | 項 | 総務管理費 | | 目 | 企画費 | 重点プロジェクト | |

## 1．事業の概要

| | |
|---|---|
| 法令根拠、条例等 | 空家等対策の推進に関する特別措置法<br>会津美里町空き家・空き地バンク実施要綱、会津美里町空き家改修補助金交付要綱 |
| 事務事業の概要 | 利活用可能な空き家等を移住・定住希望者等に提供し、空き家の抑制と利活用の促進に取り組み、人口減少対策に繋げる。 |
| 対象（誰、何を） | 町内の空き家等 |
| 意図<br>(対象がどのような状態になることを目指すか) | ①減少する<br>②有効に活用される |
| 成果の考え方 | ①空き家等数<br>②空き家等利活用者数 |

| 【成果指標】 | | 単位 |
|---|---|---|
| A | 空き家等数 | 軒 |
| B | 空き家等利活用者数 | 人 |

## 2．事業の実績

### （1）事業費等の推移

| 区分 | 3年度(決算) | 4年度 | 5年度 | 6年度 | 7年度 |
|---|---|---|---|---|---|
| 事業費(千円) | 1,225 | | | | |
| 国庫支出金 | | | | | |
| 県支出金 | | | | | |
| 地方債 | | | | | |
| その他 | | | | | |
| 一般財源 | 1,225 | | | | |

### （2）指標の推移

上段：目標値　下段：実績値

| 成果指標 | 3年度 | 4年度 | 5年度 | 6年度 | 7年度 |
|---|---|---|---|---|---|
| A | 430 | | | | |
| | 423 | | | | |
| B | 10 | | | | |
| | 7 | | | | |

### （3）活動実績及び成果

| | |
|---|---|
| 活動実績 | ・空き家利活用制度周知用チラシを作成し主に固定資産税納税義務者等に配付した。<br>・空き家・空き地バンク事業を民間に委託し、物件のマッチング強化を図った。<br>・空き家利活用の促進のため、「空き家セミナー」を開催した。<br>・(公社)全日本不動産協会福島県本部と空き家・空き地バンク事業の推進に関する協定を締結した。 |
| 成果 | ・利活用制度等のチラシ配布により、空き家所有者等への空き家に対する意識付けが図られた。<br>・空き家・空き地の成約が9件（空き家7、空き地２）あり、利活用が図られ空き家・空き地の減少に繋がった。<br>・空き家・空き地バンクの民間委託や空き家セミナーにより、空き家関連の相談窓口の周知と浸透、相続登記等の重要性の周知が図られた。<br>・不動産関係団体との協定により、空き家・空き地バンクの推進に関する連携体制を構築できた。 |

## 3．最終評価

| | | |
|---|---|---|
| 成果の方向性 | 現状維持 | （理由）<br>柔軟な相談対応ができるよう空き家・空き地バンク事業について民間委託している。利活用制度の浸透と、着実な成約実績の積み重ねにより成果は向上しているので、引き続き事業を実施していく。 |
| コストの方向性 | 現状維持 | （理由）<br>民間への委託を行い、職員コストを最小限に実施しており、今後もこの方向性を維持する。 |
| 今後の方向性 | 現状維持 | （理由）<br>今後は、効果的に事業を進めるため、司法書士や土地家屋調査士等との連携の強化及び、空き家政策を一体的に実施する組織の再検討を進める必要がある。 |

# 事務事業 事後評価シート（令和3年度実施事業）

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 事務事業名 | 空家等対策事業 | | | | | 事業通番 | 14583 |
| | | | | | | 開始年度 | 令和3年度 |
| 総合計画体系 | 政策№ | 1 | 政策名 | 自然に配慮した環境づくり | | 終了年度 | -- |
| | 施策№ | 1-2 | 施策名 | 生活基盤の整備 | | 担当課名 | 建設水道課 |
| 予算科目 | 会計 | 一般会計 | | 款 | 土木費 | 担当係名 | 管理係 |
| | 項 | 都市計画費 | | 目 | 都市計画総務費 | 重点プロジェクト | |

**１．事業の概要**

| | |
|---|---|
| 法令根拠、条例等 | 空家等対策の推進に関する特別措置法、会津美里町空き家等の適正管理に関する条例 |
| 事務事業の概要 | 空家等対策の推進に関する特別措置法に規定する特定空家等及び危険な空家の対策 |
| 対象（誰、何を） | 危険空家、特定空家等の所有者又は法定相続人、利害関係人。 |
| 意図<br>(対象がどのような状態になることを目指すか) | 近隣住民又は通報者との問題点が解決されること。 |
| 成果の考え方 | 所有者等に文書等による指導を実施し、家屋の除却、草刈、剪定等の改善措置が実施されること。 |

| 【成果指標】 | | 単位 |
|---|---|---|
| A | 特定空家等、危険空家の改善措置数 | 件 |
| B | 所有者等に対しての指導回数 | 回 |

**２．事業の実績**

**（１）事業費等の推移**

| 区分 | 3年度(決算) | 4年度 | 5年度 | 6年度 | 7年度 |
|---|---|---|---|---|---|
| 事業費(千円) | 2,770 | | | | |
| 国庫支出金 | | | | | |
| 県支出金 | | | | | |
| 地方債 | | | | | |
| その他 | | | | | |
| 一般財源 | 2,770 | | | | |

**（２）指標の推移**　　**上段：目標値　下段：実績値**

| 成果指標 | 3年度 | 4年度 | 5年度 | 6年度 | 7年度 |
|---|---|---|---|---|---|
| A | 2 | | | | |
| | 2 | | | | |
| B | 20 | | | | |
| | 28 | | | | |

**（３）活動実績及び成果**

| | |
|---|---|
| 活動実績 | 危険空家の所有者等への助言・指導を延べ28件実施した。<br>特定空家については改善が見られない２件について助言・指導を行った。また、特定空家として新たに６件認定している。 |
| 成果 | 助言・指導や、特定空家に認定することにより、特定空家５件、危険空家等で１件が所有者等により除却された。<br>また、近隣住民に迷惑となっていた草木についても、所有者等により剪定が１件実施された。 |

**３．最終評価**

| | | |
|---|---|---|
| 成果の方向性 | 拡充 | **（理由）**<br>少子高齢化、核家族化の影響により今後更に空家の増加が見込まれるため、事業を強化拡充する必要がある。 |
| コストの方向性 | 拡大 | **（理由）**<br>危険空家等の早期解消を図るため、補助金の補助対象物件を拡大することで補助交付件数が増える見込みであることから、コストの増加が見込まれる。 |
| 今後の方向性 | 有効性改善 | **（理由）**<br>危険な空家問題を解消すべく、要綱の補助対象物件を見直し事業を実施する。 |

# 事務事業 事後評価シート（令和3年度実施事業）

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 事務事業名 | 水道未普及地域生活用水確保対策事業 | | | | | 事業通番 | 14585 |
| | | | | | | 開始年度 | 令和3年度 |
| 総合計画体系 | 政策№ | 1 | 政策名 | 自然に配慮した環境づくり | | 終了年度 | -- |
| | 施策№ | 1-2 | 施策名 | 生活基盤の整備 | | 担当課名 | 建設水道課 |
| 予算科目 | 会計 | 一般会計 | | 款 | 衛生費 | 担当係名 | 上下水道係 |
| | 項 | 保健衛生費 | | 目 | 保健衛生総務費 | 重点プロジェクト | |

## １．事業の概要

| | |
|---|---|
| 法令根拠、条例等 | 会津美里町水道未普及地域生活用水確保対策事業補助金交付要綱 |
| 事務事業の概要 | 町の水道が整備されていない地域の集落等において、生活用水を確保するために必要な施設の新設又は改修等を行なう個人又は団体に対し、予算の範囲内において補助金を交付する。<br>【おもな取組】令和３年度は、生活用水を確保するために必要な施設の新設又は改修等を行う個人又は団体に対し、その費用の一部を助成する。 |
| 対象（誰、何を） | 水道未普及地域で生活用水を確保するために必要な施設の新設又は改修等を行う個人（世帯）又は団体 |
| 意図<br>(対象がどのような状態になることを目指すか) | 生活用水を安全で安定的に確保できる。 |
| 成果の考え方 | 水道未普及地域において、安定的に生活用水を確保できることを成果と捉え、現在苦慮していない世帯においても今後施設の改修等が必要となる場合を考慮して、水道未普及地域内の全戸数に対して、補助金を利用した戸数累計の割合をＡの指標に設定する。また、補助金を利用した戸数をＢの指標に設定する。 |

| 【成果指標】 | | 単位 |
|---|---|---|
| A | 水道未普及地域の世帯数に対して、この補助金を利用して改修・新設した（水質検査除く）世帯数累計の割合 | % |
| B | 水道未普及地域において、この補助金を利用して改修・新設した（水質検査除く）世帯 | 世帯 |

## ２．事業の実績

### （１）事業費等の推移

| 区分 | 3年度(決算) | 4年度 | 5年度 | 6年度 | 7年度 |
|---|---|---|---|---|---|
| 事業費(千円) | 52,584 | | | | |
| 国庫支出金 | | | | | |
| 県支出金 | | | | | |
| 地方債 | | | | | |
| その他 | | | | | |
| 一般財源 | 52,584 | | | | |

### （２）指標の推移

上段：目標値　下段：実績値

| 成果指標 | 3年度 | 4年度 | 5年度 | 6年度 | 7年度 |
|---|---|---|---|---|---|
| A | 40 | | | | |
| | 42 | | | | |
| B | 78 | | | | |
| | 82 | | | | |

### （３）活動実績及び成果

| | |
|---|---|
| 活動実績 | 水道未普及地域の17件（17世帯）に対し、総額52,584,000円の補助金を交付した。 |
| 成果 | 生活用水を安全で安定的に確保できる世帯が増加した。 |

## ３．最終評価

| | | |
|---|---|---|
| 成果の方向性 | 現状維持 | （理由）<br>水道未普及地域における生活用水の安定確保を図るため、長期的に事業を継続し、事業利用者の増加を図る必要がある。 |
| コストの方向性 | 現状維持 | （理由）<br>水道未普及地域の住民に対し、継続的に補助制度の啓発を実施するため現状維持。 |
| 今後の方向性 | 現状維持 | （理由）<br>水道未普及地域における生活用水の安定確保を図るため、地域住民に対し補助制度の啓発を行う。 |

# 事務事業 事後評価シート（令和3年度実施事業）

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 事務事業名 | 公共下水道接続促進事業 | | | | | 事業通番 | 15004 |
| | | | | | | 開始年度 | 令和3年度 |
| 総合計画体系 | 政策№ | 1 | 政策名 | 自然に配慮した環境づくり | | 終了年度 | 令和5年度 |
| | 施策№ | 1-2 | 施策名 | 生活基盤の整備 | | 担当課名 | 建設水道課 |
| 予算科目 | 会計 | 下水道事業会計 | | 款 | 公共下水道事業費用 | 担当係名 | 上下水道係 |
| | 項 | 営業費用 | | 目 | 総係費 | 重点プロジェクト | |

## 1．事業の概要

| | |
|---|---|
| 法令根拠、条例等 | 会津美里町公共下水道等接続促進事業助成金交付要綱 |
| 事務事業の概要 | 公共下水道供用開始区域内で、下水道接続の水洗化工事（合併処理浄化槽、単独処理浄化槽、汲取り便所からの切替）を行う一般家庭を対象に、工事費の一部を予算の範囲内において助成する。<br>【おもな取組】令和３年度は、公共下水道へ新たに接続するための排水設備工事（新築又は建替え工事を除く。）を行う者に対し、その費用の一部を助成する。 |
| 対象（誰、何を） | 供用開始区域内における未接続の一般家庭（合併処理浄化槽、単独処理浄化槽、汲取り便所使用者）。 |
| 意図<br>(対象がどのような状態になることを目指すか) | 排水設備工事を行い、新たに公共下水道へ接続する。 |
| 成果の考え方 | 公共下水道への接続率の向上を成果と捉え、Aの指標を設定する。また、助成金を利用した新規接続件数についても成果と捉え、Bの指標を設定する。 |

| 【成果指標】 | | 単位 |
|---|---|---|
| A | 下水道接続率(公共ます)　　接続人口/処理区域内人口 | % |
| B | 公共下水道等接続促進事業助成金交付決定件数（公共下水道分） | 件 |

## 2．事業の実績

### （1）事業費等の推移

| 区分 | 3年度(決算) | 4年度 | 5年度 | 6年度 | 7年度 |
|---|---|---|---|---|---|
| 事業費(千円) | 6,617 | | | | |
| 国庫支出金 | | | | | |
| 県支出金 | | | | | |
| 地方債 | | | | | |
| その他 | | | | | |
| 一般財源 | 6,617 | | | | |

### （2）指標の推移

上段：目標値　下段：実績値

| 成果指標 | 3年度 | 4年度 | 5年度 | 6年度 | 7年度 |
|---|---|---|---|---|---|
| A | 48.5 | | | | |
| | 51.7 | | | | |
| B | 32 | | | | |
| | 29 | | | | |

### （3）活動実績及び成果

| | |
|---|---|
| 活動実績 | 供用開始区域内における下水道への切り替え工事　29件に対し、総額6,617,000円の助成金を交付した。 |
| 成果 | 助成金を活用し事業を実施することで、公共下水道への接続率の向上が図られた。 |

## 3．最終評価

| | | |
|---|---|---|
| 成果の方向性 | 現状維持 | （理由）<br>当該助成制度により、排水設備の接続促進がなされ、接続率の向上、料金収入の増により下水道事業の安定経営を維持する。 |
| コストの方向性 | 現状維持 | （理由）<br>公共下水道処理区域内の接続を促進し、快適な生活環境の保全、公共用水域の水質汚濁の防止及び浄化を図るため、現状維持とする。 |
| 今後の方向性 | 現状維持 | （理由）<br>接続促進を図るため、補助制度の啓発に努める。 |

# 事務事業 事後評価シート（令和3年度実施事業）

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 事務事業名 | 農業集落排水処理施設接続促進事業 | | | | | 事業通番 | 15006 |
| | | | | | | 開始年度 | 令和3年度 |
| 総合計画体系 | 政策№ | 1 | 政策名 | 自然に配慮した環境づくり | | 終了年度 | 令和5年度 |
| | 施策№ | 1-2 | 施策名 | 生活基盤の整備 | | 担当課名 | 建設水道課 |
| 予算科目 | 会計 | 下水道事業会計 | | 款 | 農業集落排水事業費用 | 担当係名 | 上下水道係 |
| | 項 | 営業費用 | | 目 | 総係費 | 重点プロジェクト | |

## 1．事業の概要

| | |
|---|---|
| 法令根拠、条例等 | 会津美里町公共下水道等接続促進事業助成金交付要綱 |
| 事務事業の概要 | 農業集落排水供用開始区域内で、農業集落排水接続の水洗化工事（合併処理浄化槽、単独処理浄化槽、汲取り便所からの切替）を行う一般家庭を対象に、工事費の一部を予算の範囲内において助成する。<br>【おもな取組】令和３年度は、農業集落排水へ新たに接続するための排水設備工事（新築又は建替え工事を除く。）を行う者に対し、その費用の一部を助成する。 |
| 対象（誰、何を） | 供用開始区域内における未接続の一般家庭（合併処理浄化槽、単独処理浄化槽、汲取り便所使用者） |
| 意図<br>(対象がどのような状態になることを目指すか) | 排水設備工事を行い、新たに農業集落排水へ接続する。 |
| 成果の考え方 | 農業集落排水への接続率の向上を成果と捉え、Aの指標を設定する。また、助成金を利用した新規接続件数についても成果と捉え、Bの指標を設定する。 |

| 【成果指標】 | | 単位 |
|---|---|---|
| A | 農業集落排水接続率(公共ます)　　接続人口/処理区域内人口 | % |
| B | 公共下水道等接続促進事業助成金交付決定件数（農業集落排水分） | 件 |

## 2．事業の実績

### （1）事業費等の推移

| 区分 | 3年度(決算) | 4年度 | 5年度 | 6年度 | 7年度 |
|---|---|---|---|---|---|
| 事業費(千円) | 565 | | | | |
| 国庫支出金 | | | | | |
| 県支出金 | | | | | |
| 地方債 | | | | | |
| その他 | | | | | |
| 一般財源 | 565 | | | | |

### （2）指標の推移

上段：目標値　下段：実績値

| 成果指標 | 3年度 | 4年度 | 5年度 | 6年度 | 7年度 |
|---|---|---|---|---|---|
| A | 64.4 | | | | |
| | 57 | | | | |
| B | 12 | | | | |
| | 3 | | | | |

### （3）活動実績及び成果

| | |
|---|---|
| 活動実績 | 供用開始区域内の農業集落排水への切り替え工事　3件に対し、総額565,000円の助成金を交付した。 |
| 成果 | 接続率の向上が図られた。 |

## 3．最終評価

| | | |
|---|---|---|
| 成果の方向性 | 現状維持 | （理由）<br>当該助成制度により、排水設備の接続促進がなされ、接続率の向上、料金収入の増により、農業集落排水事業の安定経営を維持する。 |
| コストの方向性 | 現状維持 | （理由）<br>農業集落排水処理区域内の接続を促進し、快適な生活環境の保全、公共用水域の水質汚濁の防止及び浄化を図るため現状維持とする。 |
| 今後の方向性 | 現状維持 | （理由）<br>接続促進を図るため、補助制度の啓発に努める。 |

# 事務事業 事後評価シート（令和3年度実施事業）

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 事務事業名 | 合併浄化槽設置整備事業 | | | | | 事業通番 | 16745 |
| | | | | | | 開始年度 | 令和3年度 |
| 総合計画体系 | 政策№ | 1 | 政策名 | 自然に配慮した環境づくり | | 終了年度 | -- |
| | 施策№ | 1-2 | 施策名 | 生活基盤の整備 | | 担当課名 | 建設水道課 |
| 予算科目 | 会計 | 一般会計 | | 款 | 衛生費 | 担当係名 | 上下水道係 |
| | 項 | 清掃費 | | 目 | 浄化槽整備費 | 重点プロジェクト | |

## 1．事業の概要

| | |
|---|---|
| 法令根拠、条例等 | 会津美里町合併処理浄化槽設置整備事業費補助金交付要綱<br>循環型社会形成推進交付金交付要綱・福島県浄化槽設置整備事業実施要綱 |
| 事務事業の概要 | 公共下水道事業認可区域及び農業集落排水事業実施区域以外の地域において、し尿と生活雑排水を併せて処理するため新たに合併処理浄化槽を設置する方に補助金を交付する。<br>【おもな取組】令和３年度は、新たに合併処理浄化槽の設置を行う者に対し、その費用の一部を助成する。 |
| 対象（誰、何を） | 対象地域の生活排水未処理世帯 |
| 意図<br>(対象がどのような状態になることを目指すか) | し尿と生活雑排水を併せて処理するため、新たに合併処理浄化槽を設置する。 |
| 成果の考え方 | 生活環境の保全のため、生活排水処理が促進されることを成果と捉え、合併処理浄化槽の新規設置基数をAの指標を設定する。 |

| 【成果指標】 | | 単位 |
|---|---|---|
| A | 合併処理浄化槽新規設置件数（補助交付決定件数） | 件 |
| B | - | - |

## 2．事業の実績

### （1）事業費等の推移

| 区分 | 3年度(決算) | 4年度 | 5年度 | 6年度 | 7年度 |
|---|---|---|---|---|---|
| 事業費(千円) | 9,940 | | | | |
| 国庫支出金 | 2,855 | | | | |
| 県支出金 | 1,756 | | | | |
| 地方債 | | | | | |
| その他 | | | | | |
| 一般財源 | 5,329 | | | | |

### （2）指標の推移

上段：目標値　下段：実績値

| 成果指標 | 3年度 | 4年度 | 5年度 | 6年度 | 7年度 |
|---|---|---|---|---|---|
| A | 22 | | | | |
| | 20 | | | | |
| B | - | | | | |
| | - | | | | |

### （3）活動実績及び成果

| | |
|---|---|
| 活動実績 | 対象区域内の20世帯に対し、補助金を交付した。(５人槽：５基、７人槽：14基、10人槽：１基) |
| 成果 | 生活排水処理が促進され、生活環境の保全に結びついている。 |

## 3．最終評価

| | | |
|---|---|---|
| 成果の方向性 | 現状維持 | （理由）<br>公共下水道事業認可区域及び農業集落排水事業実施区域以外の地域における合併処理浄化槽の設置は、計画通り進捗している。 |
| コストの方向性 | 現状維持 | （理由）<br>生活排水処理率の向上を図るため、削減の余地はない。 |
| 今後の方向性 | 現状維持 | （理由）<br>生活排水処理率の向上を図るため、国県補助事業を活用しながら単独浄化槽及びくみ取り便槽から合併処理浄化槽への切り替えを推進する。 |

# 事務事業 事後評価シート（令和3年度実施事業）

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 事務事業名 | 老朽管更新事業 | | | | | 事業通番 | 90004 |
| | | | | | | 開始年度 | 令和3年度 |
| 総合計画体系 | 政策№ | 1 | 政策名 | 自然に配慮した環境づくり | | 終了年度 | 令和19年度 |
| | 施策№ | 1-2 | 施策名 | 生活基盤の整備 | | 担当課名 | 建設水道課 |
| 予算科目 | 会計 | 水道事業会計 | 款 | 資本的支出 | | 担当係名 | 上下水道係 |
| | 項 | 建設改良費 | 目 | 建設改良費 | | 重点プロジェクト | |

## 1．事業の概要

| | |
|---|---|
| 法令根拠、条例等 | 会津美里町給水条例、水道法 |
| 事務事業の概要 | 既設石綿セメント管の老朽化、経年劣化による漏水等の事故により水道水の安定供給に支障となるため、管路整備の一環として、石綿セメント管の布設替を実施する。<br>【おもな取組】令和３年度は、永井野地区の約1,300ｍを配水管布設替えを実施する。また、令和４年度施工予定箇所の測量設計委託を行う。 |
| 対象（誰、何を） | 水道施設（石綿セメント管） |
| 意図<br>(対象がどのような状態になることを目指すか) | 水道施設（石綿セメント管）の改修および更新を行い、水道水の安定供給のため機能の強化を図る。 |
| 成果の考え方 | 給水区域内における水道水の安定供給のため、老朽管（石綿セメント管）の布設替を成果と捉え、実施延長をAの指標とし、計画延長に対する実施延長の割合をBの指標とする。 |

| 【成果指標】 | | 単位 |
|---|---|---|
| A | 老朽管の布設替実施延長 | m |
| B | 老朽管の布設替実施延長/老朽管の布設替計画延長 | % |

## 2．事業の実績

### （1）事業費等の推移

| 区分 | 3年度(決算) | 4年度 | 5年度 | 6年度 | 7年度 |
|---|---|---|---|---|---|
| 事業費(千円) | 85,547 | | | | |
| 国庫支出金 | | | | | |
| 県支出金 | | | | | |
| 地方債 | 37,400 | | | | |
| その他 | 11,626 | | | | |
| 一般財源 | 36,521 | | | | |

### （2）指標の推移

上段：目標値　下段：実績値

| 成果指標 | 3年度 | 4年度 | 5年度 | 6年度 | 7年度 |
|---|---|---|---|---|---|
| A | 1,260 | | | | |
| | 940 | | | | |
| B | 5.06 | | | | |
| | 3.78 | | | | |

### （3）活動実績及び成果

| | |
|---|---|
| 活動実績 | 配水管の布設替及び分岐（935.47m）、給水管の布設替（55箇所）、消火栓の布設替（8箇所）を施工した。 |
| 成果 | 老朽管の布設替を実施し、水道水の安定した供給を行った。 |

## 3．最終評価

| | | |
|---|---|---|
| 成果の方向性 | 現状維持 | （理由）<br>老朽管更新により、漏水の減少及び有収率が向上し、水道事業の安定した経営を確保する。 |
| コストの方向性 | 現状維持 | （理由）<br>可能な限り他事業との同時施工を検討し、コスト面等を改善していくこととし、現状維持とする。 |
| 今後の方向性 | 現状維持 | （理由）<br>可能な限り他事業との同時施工を検討し、コスト面等を改善していく。 |